

授業科目名 (英文表記)	社会保障法 (Social Security Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	金川 めぐみ		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 5月14日(土) 13:00~17:00		
	第2回 6月11日(土) 13:00~17:00		
	第3回 8月20日(土) 13:00~17:00		
<p>【授業のねらい・概要】 本格的な少子高齢社会の到来・経済のグローバル化・家族形態の多様化などを背景として、日本の社会福祉制度はいま大きな転換期にさしかかっています。医療・年金保険制度についても、この数年で相次ぐ法改正が行われ、そのあり方が問われようとしています。そのような社会保障の制度について、人権保障の観点からその原理を考察・検討していきます。 履修者は、授業を通してDP1①、DP2②、DP3①、DP4①を満たすことを目的とします。</p> <p>【授業計画】 第1回① ・ガイダンス、科目のカリキュラム上の位置づけの説明・授業方法の説明・成績評価方法の説明など ・「福祉政策と人権」第1章の内容を考える 〔予習〕教科書第1章を一読しておくこと。 〔復習〕第1回①の講義で学んだことを確認しておくこと。 第1回② ・「福祉政策と人権」第2章、および第15章の内容を考える 〔予習〕教科書第2章・第15章を一読しておくこと。 〔復習〕第1回②の講義で学んだことを確認しておくこと。 第2回① 前回の復習 各担当者の発表：「福祉政策と人権」第3章～第7章 〔予習〕各担当者の発表範囲の章を一読しておくこと。担当者は発表準備を行うこと。 〔復習〕第2回①の講義で学んだことを確認しておくこと。 第2回② 各担当者の発表：「福祉政策と人権」第8章～第14章 〔予習〕各担当者の発表範囲の章を一読しておくこと。担当者は発表準備を行うこと。 〔復習〕第2回②の講義で学んだことを確認しておくこと。 第3回① 前回の復習 履修生が考える「福祉政策と人権」の内容報告 〔予習〕各担当者は、自らの視点で「福祉政策と人権」のテーマで考察を行ったうえ、発表準備を行うこと。 〔復習〕第3回①の講義で学んだことを確認しておくこと。 第3回② 履修生が考える「福祉政策と人権」の内容報告 まとめ、レポート指示 〔予習〕各担当者は、自らの視点で「福祉政策と人権」のテーマで考察を行ったうえ、発表準備を行うこと。 〔復習〕第3回②の講義で学んだことを確認しておくこと。レポートを作成すること。</p> <p>【到達目標】 講義で紹介される内容の基礎的な部分を把握し、自らで論理的にその内容を説明しコメントを加えることができるのが、合格への最低ラインです。</p> <p>【成績評価の方法】 授業に入る前の学修(10%)、授業での議論(40%)、レポート(50%)</p> <p>【教科書】 金川めぐみ [2022] 「福祉政策と人権」放送大学教育振興会、3,100円(税別)</p> <p>【参考書・参考文献】 講義中に適宜紹介します。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 この授業は、その構成において議論を行う時間を予定しています。積極的な質疑応答を望みます。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】 南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行います。同時配信を受信する方法として、パソコンとTeamsさらにZoomのアプリをダウンロードしておいてください。さらに質疑応答する場合に、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 まずは教科書を読み込んでください。授業終了後には議論から得た知見や刺激に基づき感想または各人の調査結果をまとめてもらいます。授業の最後には授業全体を振り返り、レポートを作成してもらいます。これらへの対応のために相当程度の時間が必要です。 ※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			